

③ 玉縄幼稚園 1948(S23)年～

幼稚園設立まで

1880(M15)年行政区域の移転で、玉縄学校(現玉縄小学校)が龍宝寺(植木128 玉縄北条氏菩提寺曹洞宗)山門内に移転。1937(S12)年、生徒数の増加で現在地(玉縄 1-860)に移るまで、50年以上小学校が置かれていた。終戦後の農地改革で農地を解放し、山林解放のうわさで元屋敷(山居)の山林を伐採して薪を作り売却、それらの資金を基金に、48年「玉縄幼稚園」が開園した。

住職が初代園長を務め、龍宝寺谷戸の緑に囲まれ、四季折々の花が咲き野鳥も訪れる境内



1983年 第35回卒園記念

全てが園庭で、本堂を園舎として開園した。49年には

山門前の旧大船捕虜収容所の建物を教室に改築して利用、20年後の69年、山門内の旧玉縄小学校敷地跡に現在の建物が建てられた。76年には12学級、園児は480名を数えた。

お寺の幼稚園



仏教行事も行われ、4月8日の花まつり（お釈迦様の誕生日）、12月8日の成道会（お釈迦様が悟りを開いた日）2月15日

の涅槃会（お釈迦様が亡くなった日）は、本堂にお詣りし焼香、いわれなど住職の話を聞く。プール開きも住職が安全祈願を行う。

朝礼でお釈迦様の歌を皆で歌う。

「ほとけのこども」

われらはほとけのこどもなり うれしいときも
かなしいときも みおやのそでにすがりなん

「ののさまに」

ののさまにあげましょ きれいなおはな

ののさまにあげましょ きれいなおみず

「おねむり」といって黙想し、その間ピアノが演奏されるなど、仏教に親しむ教育をしている。

送迎バスの無い幼稚園

親子一緒に通園の原則を開園時から守り、送迎時間を親子の絆を深める大切な時間と位置づけ、大事にしている。親同士も顔を合わせるので、いろいろな人と出会え、情報交換の場になっている。先生からも日々の子供の様子などよく話してもらえ安心するという。最初は親と一緒に通園するのは、毎日のことで大変と思ったが、卒園すると子供と良いコミュニケーションが持てたと話す親が多い。

玉縄幼稚園は今年4月から認定こども園として、新たな一歩を踏み出す。

